

英語教育フォーラムのお知らせ

宮城教育大学附属
小学校英語教育研究センター
板垣信哉

宮城教育大学附属・小学校英語教育研究センターでは、以下の要領で「英語教育フォーラム」を開催いたします。本フォーラムでは、慶応義塾大学の川原繁人氏に、「音声学入門：調音音声学・音響音声学・知覚音声学」という演題で、音声学と英語教育の関連性などについて講演を行っていただきます。当日は、参加者の皆様とともに、学びあう会にしたいと存じます。ぜひご参加を賜りますようお願い申し上げます。

音声学入門：調音音声学・音響音声学・知覚音声学

近年の音声学の動向を、過去に音声学や音韻論に触れたことのない方でも分かるように解説していきます。調音音声学では、色々な音の発音を MRI や EMA などを使って科学的に分析します。音響音声学では、様々な調音がどのような空気振動パターンに変換されるかを解析します。知覚音声学では、心理学的実験パラダイムに基づいて、人間がどのように音を知覚するのか探求します。今回の講義では、英語教育に関連づけられるよう、日本人が苦手とする [l] と [r] の対立を例に、これらのアプローチを紹介して行きたいと思います。

<講師紹介>

国際基督教大学学士（2002年）、マサチューセッツ大学言語学博士（2007年）。ジョージア大学、ラトガーズ大学 Assistant Professor を経て、現在慶應義塾大学言語文化研究所専任講師。

研究の専門は音声学、音韻論、及びそのインターフェイス。また最近は、声を失ってしまう病気の患者の声を事前に録音し、パソコンから再生させるマイボイスプロジェクトの研究支援を行なっている。

主要著書：[1] Kawahara, Shigeto (2006) A faithfulness ranking projected from a perceptibility scale: The case of [+voice] in Japanese. *Language* 82(3): 536-574. [2] Kawahara, Shigeto (2011) Japanese loanword devoicing revisited: A rating study. *Natural Language and Linguistic Theory* 29(3): 705-723. [3] Kawahara, Shigeto and Aaron Braver (2014) Durational properties of emphatically lengthened consonants in Japanese. *Journal of International Phonetic Association* 44: 237-260. [4] Kawahara, Shigeto (2015) Can we use rendaku for phonological argumentation? *Linguistic Vanguard*. [5] 川原繁人他 (2015) マイボイス：言語学が失われる声を救うために。音韻研究 18. その他多数の国際雑誌に論文を掲載。



講師ホームページ →

1. 日程：

2015年1月22日（木）18:00~19:30

18:00 ~ 19:00 講演

19:00 ~ 19:30 質疑応答

2. 場所：

宮城教育大学（仙台市青葉区荒巻字青葉 149 番地）2号館 232 教室

*本学正門脇駐車場有（100 台）

3. 対象者：

小・中・高等学校および大学の英語教育（音声教育を含む）及び英語音声学に関心をお持ちの方など。

4. 参加費：

無料（事前申し込みは不要）

5. お問い合わせ先：

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 149 番地
宮城教育大学附属・小学校英語教育研究センター
戸塚真愛

TEL/FAX: 022-214-3493

E-mail: m-tozuka@staff.miyakyo-u.ac.jp